

科目区分 発達障害コース 授業科目 知的障害児の教育課程と指導法 受講生36名
「知的障害児の理解と指導法」

担当教官 上岡一世

1. 授業の目的

- ・知的障害児とはどういう障害か、どういう指導が効果的かを理解するとともに、彼らに関わる教師としての基本姿勢を学ぶ。
- ・知的障害児教育の教育課程を歴史的経過を通して学び、今後の教育の方向性を展望する。

2. 到達目標

- ①知的障害児教育の学習指導要領、教育課程の内容が理解できる。
- ②知的障害児教育の歴史を理解し、今後の展望を切り開く方向性を論述できる。
- ③知的障害児（含む自閉症）の効果的な指導法、対応法を体得できる。

3. 授業の内容

- 第1回 授業のガイダンス、目的
- 第2回 日本の知的障害児教育の現状
- 第3回 知的障害児教育の基本理念と目標
- 第4回 知的障害児教育の学習指導要領の変遷
- 第5回 新学習指導要領の理解
- 第6回 教育課程の編成
- 第7回 授業時間割の編成
- 第8回 指導形態の理解（日常生活の指導）
- 第9回 指導形態の理解（遊びの指導）
- 第10回 指導形態の理解（生活単元学習）
- 第11回 //
- 第12回 指導形態の理解（作業学習）
- 第13回 //
- 第14回 学級経営法
- 第15回 試験

4. 授業の進め方

この講義は、将来、知的障害児教育の教師になる人を対象としたので、知的障害教育に対する基本的理解と指導法、対応法の実際に力点を置いて授業を展開した。一方

的な講義にならないよう、毎回、次週に講義する内容について自主学習（与えられた課題の情報収集）を位置づけ、それを発表させた後講義に入るようにし、より講義の理解度を高めるよう配慮した。

5. 授業評価

授業改善のための調査は無記名で、以下の7点について行った。結果は次の通りである。

①授業への出席度

- ・すべて出席—3名
- ・1回欠席—10名
- ・2回欠席—13名
- ・3回欠席—5名
- ・4回欠席—3名

②授業の予習、復習などの自主学習

- ・よくした—5名
- ・時々した—31名
- ・しなかった—0名

③授業の理解度

- ・よく理解できた—15名
- ・理解できないことが少しあった—21
- ・理解できないことが多かった—0名

④授業への参加意欲、受講姿勢

- ・高かった—24名
- ・どちらでもない—12名
- ・低かった—0名

⑤授業の内容、レベル

- ・ちょうどよい—28名
- ・難しい—8名
- ・易しい—0名

⑥この授業を受けて勉強になったこと（自由記述—抜粋）

- ・障害児教育の歴史に、実はあまり興味を持っていなかった。しかし、教育全体の見通しを立て、自分の教育のあり方を考える上では大変重要であると思えるようになった。
- ・知的障害児教育の歴史から今後の展望まで、実際の教育を理解しながら学べたの

でよかった。

- ・授業の内容は少し難しかったが、実際の事例を示してくれたのでわかりやすく、また印象に残っている。
- ・知的障害児教育を多様な面から見つめることができた。最新の教育課程を学べたこともとても有意義だった。
- ・通常教育と特別支援教育の教育課程の違いや学習内容について学ぶことができ役に立った。
- ・障害に対する考え方が以前と変わった。多くの知識が身についた。
- ・ほぼ毎回の授業で自分で調べたり、考えたりするという課題があったため、深い理解につながった。特に自立については大変勉強になった。
- ・生活単元学習が教科学習とどう違うのか、の話は大変参考になった。
- ・特別支援教育の新しい考え方がよく理解できた。自立や社会参加など一つ一つの言葉の持つ意味の理解が大切であることが分かった。
- ・今までうやむやだったことが理解でき、整理ができた。自分の障害観が変わった。
- ・自分自身でまず調べ、グループワークや発表へとつながっていたため、自分の考えを、他の人の考えを聞いて整理できたので勉強になった。
- ・愛媛大学に就職している人たちに関心が持てるようになった。
- ・知的障害について深く学べてよかった。

⑦この授業で改善すべきこと

(自由記述一抜粋)

- ・グループでの話し合いはよかったが、発表者が多く時間がかかりすぎる。発表者を精選して欲しい。
- ・講義の後半が進行が早く理解できないところがあった。
- ・しゃべる内容をもう少しプリントにして欲しい。
- ・具体的な映像があるとわかりやすい。
- ・与えられた課題の調べ方が分からない時があった。収集の仕方を与えて欲しい。

⑧その他

- ・プリントが広くて見やすいのでメモがしやすかった。
- ・発表が不安だった。

- ・資料をたくさん用意し、丁寧に説明してくれたので勉強になった。
- ・グループワークは大変勉強になった。
- ・課題を自宅で学習することでとても勉強になり、新しい発見があった。
- ・毎週の課題は大変だが、主体的に学ぶことができよかった。
- ・教育実習で求められていることも触れて欲しかった。
- ・現職の先生のコメントが参考になった。

6. まとめ

- ・到達目標について

この講義では、毎回、次週の講義に関する課題を設定し、自主学習を位置づけた。また、具体的な事例を多く取り入れたので、学生達も見通しを持って講義に臨むことができ、講義内容の理解はかなりできたと思われる。学生の評価を見るとおおむね当初の目標は達成できているように感じる。

- ・学生の受講姿勢

授業への参加意欲が高かった者が36名中24名(67%)と比較的多かった。課題の設定とグループワーク、発表が効果的だったと思われる。

- ・自主学習

予習、復習などの自主学習は、よくした、時々したを合わせると36名(100%)と高かった。毎回課題を与えたので、自主学習は定着したが、個々の情報収集の内容や質についてはばらつきがあり検討が必要である。課題に対する具体的目標をもう少し明確にするとともに、課題を解決するための方策についての助言が必要であると感じている。

- ・次年度への課題

受講生は2回生の発達障害コースが中心で、基礎的な専門性は身につけているが、発達障害コース以外の学生は専門的なことを学んでいないため、はじめて聞く用語も多く、むずかしいと感じた者が多い。授業内容のレベルを下げられないので、自主学習を位置づけたり、ビデオを使うなど工夫する必要がある。